

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	演出論・演劇概論3
<b>科目基礎情報</b>				
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数 30時限
単位数	2単位			授業形態 講義
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する。			
<b>担当教員情報</b>				
担当教員	木内希 千田恵子	実務経験の有無・職種	有・舞台演出	
<b>学習目的</b>				
<p>本授業は、主に役者と演出家を体験することにより、演出家の考え方と役者の動きを研究し、演劇の概念から企画、実施運営までについて講義する。また、実体験や戯曲を紹介しながら、演劇業務に携わるために必要な知識と演劇関連用語について講義する。さらに、グループで演劇作品を製作、発表を行う。</p>				
<b>到達目標</b>				
<p>グループワークショップから仕事の上でのコミュニケーションを体得する。役者が行うウォーミングアップを体験し、心身共に健康であることを目指す。戯曲の読み方、解釈のやり方を学び、戯曲解釈を的確にすることにより、演出プランや演技プランを考え、実践できるようになる。</p>				
<b>教育方法等</b>				
授業概要	コミュニケーションワークショップ。役者の呼吸法や体の使い方を学ぶ。戯曲解釈の講義。劇作講座。主に演出家・役者を体験し公演を行う。			
注意点	<p>特定の人達だけでなく、できるだけ多くの人達と話すようにすること。自ら考え、行動し、問題解決することを心がける。受講者全員が役者体験をすることが必須である。</p> <p>授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない</p>			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	成果発表 (口頭・演技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
<b>授業計画（1回～15回）</b>				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ワークショップ・前期の授業の説明	今後の授業の流れを知る（特に実習を含むこと）、授業の目的を把握する		
2回	戯曲解釈・身体ワークショップ	戯曲の読み方を学ぶ、役者の身体を知る		
3回	演出と演出家について	イメージを共有をするワークショップ		
4回	観客を誘導する	想像力を豊かにする、観客の視線を操作する		
5回	稽古①	本読み、演出の方向を決める		
6回	稽古②	立ち稽古、リハーサル		
7回	中間発表①	全員が舞台に立つ、台詞を言う		
8回	中間発表②	狙い通りの発表ができたか		
9回	中間発表の振り返り	後期に向けて、目標を設定する		
10回	後期の発表に向けて	後期の授業の流れを知る		
11回	作劇ワークショップ①	戯曲の書き方から演劇を知る		
12回	作劇ワークショップ②	実際に戯曲を書いてみる		
13回	演出家の仕事	戦術的手法・交通整理の仕方を学ぶ		
14回	役者の仕事	「言葉」や「心理」、そして「理性」を考える		
15回	演技について	聞く力をつける		